



日野 健 議員

平成二十年度予算編成と 行財政改革について

問

一・予算編成方針と留意点・重点施策の取組について
 二・行政改革大綱、四重点目標の取組と進捗状況について
 三・効率的行財政システムの取組について
 四・組織編制と地域事務所のあり方について

答 中村市長

一・平成二十年度の予算編成に当たっては、すべての事業について重点化する事業、継続する事業、見直し又は廃止する事業を原点から見極めて、縮減された財源の中で持続可能な財政運営体制を構築することを目指している。
 市民生活に密着した諸事業については十分配慮すること

を基本として予算編成を進めている。

二・職員の意識を変えるため、人事評価制度や行政評価制度を導入し、わかりやすい市役所づくりを目指している。

しかしながら、行政内部はもとより、議会議員、市民一人ひとりが参画と協働の郷づくりをしていくという意識を持ち、それぞれの立場で、その役割を果たさなければ真に改革はなし得ないものであり、理解と協力をお願いしたい。

また、重点目標として参画と協働の郷づくりでは、地域の自立を目指した住民自治という仕組みを提案し、組織の確立に向けて取組を進めている。

答

行政改革・ 政策推進室長

三・効率的・効果的なシステムづくりでは、不効率から効率性志向へ、また成果主義への転換を目標に、現在行政評価委員会により外部評価を行っている。

一方、補助金の見直しも、補助金等審議会で審議をいただいており、市単独補助六十三件について近く答申が出される予定である。また定員管

理の適正化では、合併前の実数四百三十一人からは二十四人削減され、さらに来年度は一気に三百九十四人の職員数になる。給与の適正化についても、本年度四月から人事評価制度を本格導入し、目標管理による人材育成と能力成果主義の人事システムへの転換を図っている。

四・組織機構は、合併協議で五年をめどに最終形を構築するととして、二十年度に改めて専門コンサルによる分析、課題検証、職員配置等について判定し、地域事務所のあり方も含め組織機構に反映したい。

ウエルサンピア伊予の購入について

問

伊予市が購入すれば、伊予市の顔となり、貴重な宝としての施設になると思う。是非購入すべきだと考える。
 次の二点について問う。

一・購入金額と利用について
 二・市庁舎建設を含めた構想のもと購入してはどうか。

答

中村市長

一・今回売却物件は二件となっており、市が購入を計画しているのは、主要機能が備わ



ウエルサンピア伊予の施設

っている十一・七畝の市街化調整区域で、最低売却価格は七億八千三百万円である。

なお、購入に係っては名称の変更、引継ぎ業務費、運営委託費等を合わせた金額は、現時点では約二億円程度必要になると想定している。

二・利用計画について、御提案をいただいたが、ウエルサンピア伊予は多くの利用者に親しまれている本市都市機能の象徴でもあり、市民の負託に応えるため現有機能を維持継続させることを第一目標と

過疎地域の限界集落と地域再生について

問

過疎地域の地域を抱える本市の限界集落の現状と対応について考えを問う。

答

中村市長

限界集落・準限界集落の区分を把握するため、広報区ごとの高齢化率を調査している。

双海地区は終了して、四集落で、中山地区は今調査を進めている。こうした集落に住んでいる方々について、広報区の再編による交流事業の活性化や定期的な広報区間相互の訪問等により、住民の方が安心して社会的共同生活を営むことができるようにする必要があると考えている。



伊予市内の集落

その他の質問事項

・PFI事業の導入について
 ・スポーツの振興計画策定について